

令和8年度

〔令和8年度 厚生労働省委託事業〕

ライブ配信

会場開催

個別労働紛争を防ぎ、解決して  
働きやすい職場の実現を！

# 個別労働紛争解決研修のご案内

基礎研修

応用研修



公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会 (略称 全基連)  
個別労働紛争解決研修運営委員会

企画  
運営

本研修は、労使、学者、弁護士からなる「個別労働紛争解決研修運営委員会」が企画・運営しています。

個別労働紛争解決研修運営委員会メンバー

委員長 山川 隆一 (明治大学法学部教授)

副委員長 富高 裕子 (日本労働組合総連合会副事務局長)

副委員長 鈴木 重也 ((一社)日本経済団体連合会労働法制本部長)

委員 島田 陽一 (早稲田大学名誉教授)

委員 竹内 寿 (早稲田大学法学学術院教授)

委員 光前 幸一 (日本弁護士連合会労働法制委員長)

# 令和8年度 個別労働紛争解決研修について

近年、解雇、労働条件の引き下げ、いじめ、嫌がらせ、雇止めなど、労働者個人と事業主との間のトラブル（個別労働紛争）が頻発しています。個別労働紛争の発生は労働者や事業主にとって非常に大きな負担になる上、職場の生産性の低下にもつながる大きな問題であることから、発生した紛争に適切に対応し、労働者が安心して働ける職場環境を作ることが大きな経営課題となっています。

本研修は、こうした職場内の個別労働紛争の発生を防ぐとともに、発生してしまった紛争を早期に、円滑かつ適切に解決できる人材を育成すること目的として国の事業として実施するものです。

研修は、①紛争の争点を把握し整理する能力、②争点ごとの事実関係を調査し、正確に把握する能力、③法令、判例や就業規則を踏まえ、有効な解決手段を見出す能力などを付与すること目的としており、「基礎研修」と「応用研修」で構成されます。

## 基礎研修

13回開催（各回定員60人）

個別労働紛争の発生を防ぐとともに、発生してしまった紛争を早期に、円滑かつ適切に解決するために必要とされる基本的知識、能力を付与することを目的としています。

研修は、スクール方式で行われます。

### 労働法・総括

身近な個別労働紛争の事例や判例を数多く取り入れた講義を通して、紛争解決のルールとなる労働法の基本的知識を習得します。講義では、事前にオンデマンドで学習した「労働法①～⑥」について知識の確認を行うとともに、労働法全般について受講者の質問を受けます。講師は著名な労働法学者が担当します。

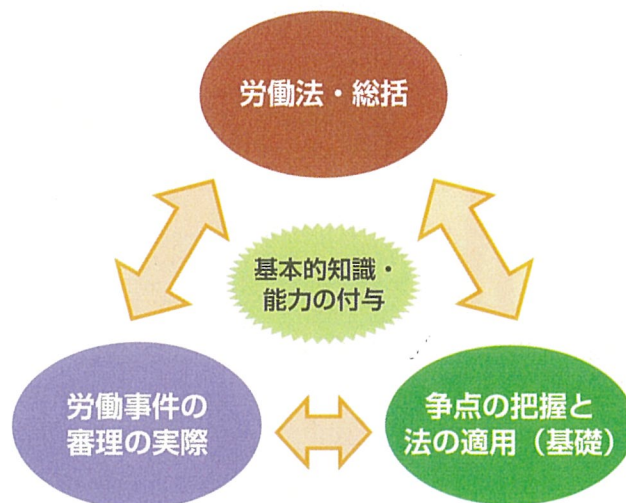
### 労働事件の審理の実際

事前にオンデマンドで「労働紛争の解決システム」を学習した後、実際の労働審判事件を参考に作成された事件記録を素材として、裁判所における紛争解決手続き全般についての基本的な知識について学習します。講師は、労働問題に精通し、多くの労働事件を手掛けてきた弁護士が担当します。

### 争点の把握と法の適用（基礎）

最近の判例の動向などを踏まえて作成した模擬紛争事例をもとに、争点の把握の仕方についてわかりやすく解説します。講師は、労働事件に関する実務経験豊富な弁護士が担当します。

### 基礎研修



## カリキュラム

### 事前学習

（研修日の1ヵ月前～前日）

内容	時間
労働法① 労働契約の基礎	90分
労働法② 労働契約の開始と展開	90分
労働法③ 労働契約の終了	90分
労働法④ 賃金・労働時間	90分
労働法⑤ 雇用均等・非典型雇用	90分
労働法⑥ 集団的労使関係と法	90分
内容	時間
労働紛争の解決システム	45分

### 研修日（ライブ配信、会場開催共通）

日時	内容	担当
9:15～9:20	オリエンテーション	事務局
9:20～11:45	労働事件の審理の実際	労側弁護士または使側弁護士*
12:45～14:15	労働法・総括	労働法学者
14:30～17:40	争点の把握と法の適用（基礎）	使側弁護士または労側弁護士*

\*各回、労側・使側双方の弁護士の講義を受講できます。

# 応用研修

10回開催（各回定員36人）

基礎研修修了者や同程度の経験・知識を有する方を対象として、複雑化・多様化する紛争に適切に対応するための実践的な能力の付与、スキルアップを目的としています。

研修はグループに分かれ、受講者間のディスカッションを中心に進められます。

## 事例的研修・総括

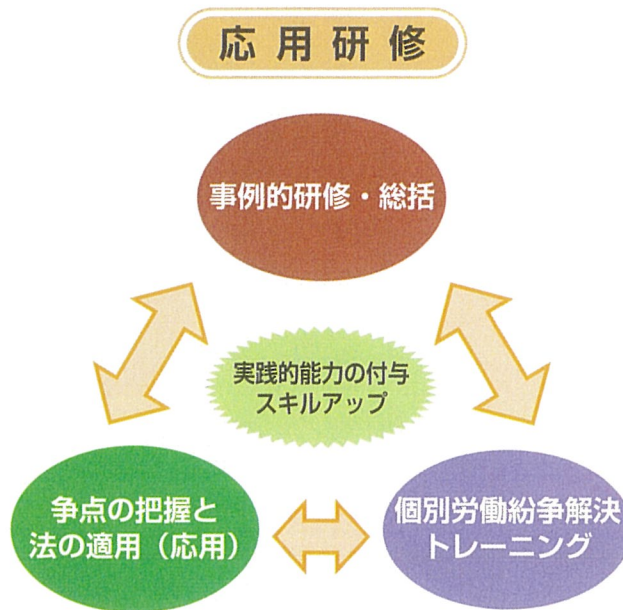
最近の労働立法、判例の動向について事前学習した後、労働関係法令・判例や喫緊の課題を盛り込んで作成した模擬紛争事例をもとに論点整理を行います。参加に当たっては、事前に「事例的研修・総括（事前準備）」のオンデマンド動画を視聴いただきます。また、最近の労働立法・判例の動向等についての質問を受けます。講師は著名な労働法学者が担当します。

## 争点の把握と法の適用（応用）

最近の判例の動向などを踏まえて作成した模擬紛争事例をもとに、受講者同士によるグループディスカッションを行いながら、争点の把握の仕方を理解していただきます。講師は、労働事件に関する実務経験豊富な弁護士が担当します。

## 個別労働紛争解決トレーニング

実際の労働審判事例をもとに作成された模擬労働審判事件を素材として、事前に「個別労働紛争解決トレーニング（事前準備）」のオンデマンド動画を視聴の上研修に参加いただき、受講者同士によるグループディスカッションを行いながら、争点・証拠の整理、証拠調べ、事実認定・解決案（調停案）の検討など一連の中立的な解決策を体験していただきます。講師は、労働問題に精通し、多くの労働事件を手掛けてきた弁護士が担当します。



# カリキュラム

## 標準コース

### 事前学習

（研修日の1カ月前～前日）

内容	時間
最近の労働立法 ／判例の動向	150分
事例的研修・総括 （事前準備）	60分
内容	時間
個別労働紛争 解決トレーニング（事前準備）	45分

## 2日コース

👉 応用研修（2日コース）は研修内容、レベル等は従来の応用研修（標準コース）と同じですが、研修日を2日にすることで受講者間のディスカッションの時間を長く設定しています。

## 研修日（ライブ配信、会場開催共通）

日時	内容	担当
9:15～ 9:20	オリエンテーション	事務局
9:20～ 12:30	争点の把握と法の適用（応用）	労側弁護士または 使側弁護士*
13:30～ 15:00	事例的研修・総括	労働法学者
15:15～ 17:40	個別労働紛争解決トレーニング	使側弁護士または 労側弁護士*

\*各回、労側・使側双方の弁護士の講義を受講できます。

日時	内容	担当
〔1日目〕		
13:15～ 13:20	オリエンテーション	事務局
13:20～ 17:30	争点の把握と法の適用（応用）	労側弁護士または 使側弁護士*

〔2日目〕		
9:30～ 11:40	事例的研修・総括	労働法学者
12:40～ 16:50	個別労働紛争解決トレーニング	使側弁護士または 労側弁護士*

\*各回、労側・使側双方の弁護士の講義を受講できます。

## 研修の流れ

本研修は、基礎研修で紛争解決のために必要とされる労働法や紛争解決システム等の基本的知識を一通り学習した後、応用研修では最近の労働法制、労働判例などの知識を前提に模擬紛争事例等を題材に受講者間でグループディスカッションを行いながら紛争解決能力をアップしていくカリキュラムとなっており、個別労働紛争解決能力を身に着けるために両研修を合わせて受講していただくことが望まれます。

ただ、両研修を合わせて受講することが困難な場合には、基礎研修、応用研修を分割してご受講いただくこともできます。

### お申し込み

研修希望日  
の選択、  
お申し込み

基礎研修、応用研修の研修日を決め全基連のホームページからお申し込み下さい。  
※基礎研修と応用研修をあわせて申し込む場合は両研修の間隔を1ヵ月以上あけて下さい。

受講料の  
お振込み

研修の1ヵ月前までに受講料をお振込み下さい。

### 基礎研修の受講

入金確認

テキスト、  
教材の送付

事前学習期間  
(1ヵ月)

オンデマンド学習

受講料の入金確認後研修日の1ヵ月前にテキスト、教材をお送りします。教材をもとに事前学習を開始して下さい。

会場での受講

ライブ配信での  
受講

# 応用研修の受講要件について

応用研修は、受講者間のグループディスカッションが中心となるため一定の受講要件が設けられています。

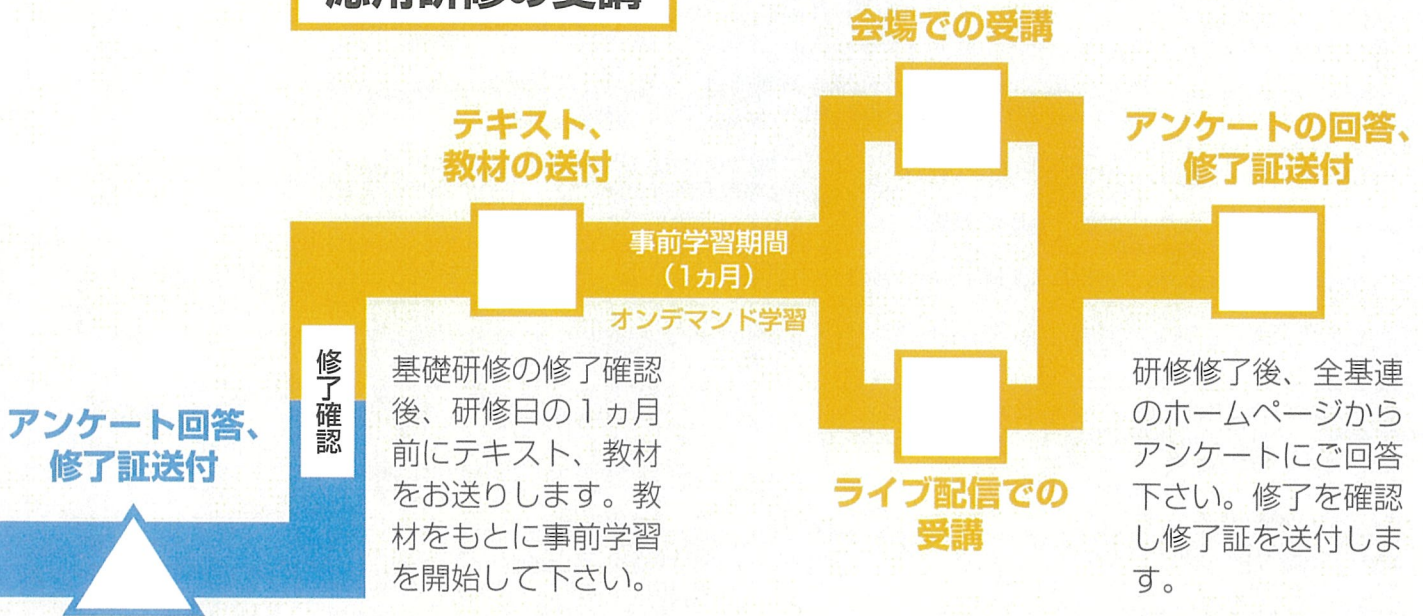
このため、基礎研修と応用研修を合わせて申し込んだ場合でも、応用研修の受講までの間に基礎研修が修了できていない場合は、応用研修を受講できない場合がありますのでご注意ください。

## \* 応用研修の受講要件

応用研修の受講に当たっては以下のいずれかの受講要件を満たす必要があります。

- ① 個別労働紛争解決研修（基礎研修）修了者
- ② 社会保険労務士
- ③ 弁護士
- ④ 都道府県労働委員会等の委員又は職員で個別労働紛争解決業務等に従事している・していた方
- ⑤ 東京労働大学講座（専門講座）労働法コースの修了者
- ⑥ 東京労働大学講座（総合講座） i）労働法部門を受講した方又は一括受講した方で、かつ、 ii）労働法の試験に合格し修了証書を授与された方

## 応用研修の受講



研修修了後、全基連のホームページからアンケートにご回答下さい。修了を確認し修了証を送付します。

## 継続的な受講のお勧め

個別労働紛争に適切に対処するには、最新の労働判例や労働政策の知識が不可欠です。本研修では、毎年度テキスト改定を行い、新しい労働判例や労働政策を取り込んでいます。また、事例的研修で取り上げる事例についても、個別労働紛争の発生状況、裁判例などを踏まえ定期的に差し替えを行っています。8年度は、個別労働紛争解決トレーニングの模擬審判事例の差し替えも行っていますので、7年度に応用研修を受講された方も是非とも研修にご参加ください。

なお、本研修では、研修受講後も継続的にステップアップ、ブラッシュアップをしていただくため、受講料の割引制度（リピート割引）が設けられています。是非ともご活用ください。

# 受講料（税込、テキスト教材一式込）

**基礎研修** 28,600円

**応用研修** 24,200円  
（応用2日コース）  
33,000円

**応用研修** 20,900円  
（応用2日コース）  
29,700円  
（リピート割適用）\*

**セット受講**

49,500円  
（応用2日コース  
選択の場合）  
58,300円

- \* 次のいずれかに該当する方は受講料の割引（リピート割）が受けられます。
- 令和7年度又は8年度に基礎研修を修了された方
  - 令和6～8年度に応用研修を修了された方
- \* セット受講の場合、リピート割は適用されません。

受講者からの評価・・・非常に高い評価をいただいています。

（令和7年度アンケートからの抜粋）

## 基礎研修

### 研修全体について

- 豪華すぎる講師陣で、これ以上望むべくもありません。
- 初めて受講したが、大変勉強になった。
- 日々の業務や経験では得られない学びや気付きがある有意義な研修だった。
- 各講師のレジュメがわかりやすかった。
- 検討課題もあり緊張感もあったが、明快でわかりやすい講義によりリラックスして参加できた。
- 基本的な知識と具体的な事例に基づき判断、考え方を学べて有意義だった。
- 労働審判員としての留意点や証拠確認の姿勢など、気づきのきっかけとなった。

### 労働法（①～⑥）、労働法・総括（7年度は、労働法（総括））

- レジュメも要点がまとめられ、分かりやすい講義で、とても良かった。
- レジュメが整理されており、講義もわかりやすい上に聴き取りやすい声で勉強がはかどった。
- 自分の都合の良い時間に講義が学べ、とても効率的な学習方法でかつ内容も分かりやすかった。
- 動画配信のため聴きなおせるので理解しやすく、楽しみながら視聴ができた。
- 最新の労働法のバージョンアップと再整理できて有意義であった。
- 事前学習の資料と研修内容がしっかりリンクして、内容の復習と理解の定着に役立った。
- 非常にわかりやすい構成の動画視聴、また確認問題により理解が深まった。
- 講師と受講者との双方向のやりとりは緊張感があり、良かった。

### 労働紛争の解決システム、労働事件の審理の実際、争点の把握と法の適用（基礎）（7年度は、事例的研修①～④）

- 紛争解決の全体的な流れ、仕組みについて理解が深まった。
- 具体的な事例の解説により理解が深まった。
- 講師の解説のみでなく、他の参加者の考えや受け止めも聴くことができ、自身の考え方が広がったと感じた。
- 指名されることで適度な緊張感も保ちやすく、集中して受講できた。
- 弁護士としての実務経験が盛り込まれた説明で、興味深く拝聴した。
- 各事例の紛争解決に向けてのポイントを法規・判例を通じ多様な視点から学べた。
- 争点整理や法の適用・解釈について理解が進んだ。
- 今後の実務にも生かせる内容で大変参考になった。

## 応用研修

### 研修全体について

- 最近の紛争事例により、解決に向けた手法等を学べて大変有意義だった。
- グループ討議があることで予習を充分に行なう動機になった。
- 事前学習や論点整理が大変だったが、その分自身の力になったと実感している。
- グループ討議により様々な見方、考え方の違いが体感でき、より理解が深まった。
- 講義やグループ討議での他の参加者の意見が非常に勉強になった。
- 基礎研修とのセット受講は負担が大きいかと感じたが、無理なく学べ、非常に良いバランスだった。

### 最近の労働立法 / 判例の動向、事例的研修・総括（7年度は、労働法（総括））

- 最近の動向に絞り込まれ、レジュメもわかりやすく、効率的に学習することができた。
- 最近の労働法制や判例の動きを知ることができ、大変有益だった。
- グループ討議や講師の解説により、実際の事案を経験したような知識が得られ有意義だった。
- 紛争が法的にどのように解決できるか、ポイントを絞ってわかりやすく説明され、理解が進んだ。
- グループ討議において多様な考え方が聴け、本当に学びとなった。

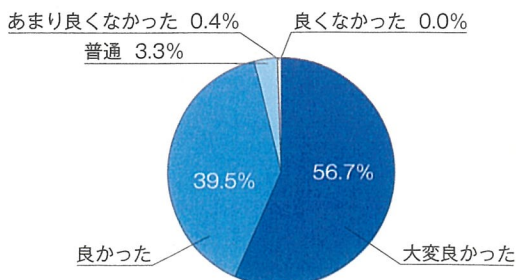
### 争点の把握と法の適用（応用）（7年度は事例的研修②、③）

- 現実的、具体的事例で大変有意義で、実務でも参考になる。
- 講義で理解が進み、グループ討議・発表・コメントという流れにより理解が深まった。
- 講義に加えグループ討議により自分では思いつかない考えに触れることができ、思考の幅が広がった。
- グループ討議では的を絞って意見交換をすることで理解も深まり、非常に有意義だった。
- 各事例でのグループ討議により様々な視点から論議する必要があることを再認識できた。

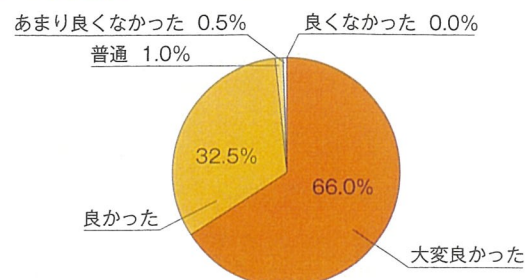
### 個別労働紛争解決トレーニング

- 最初は難しいと感じたが、労働審判には必ず経験しておくべきカリキュラムだと思った。
- 自分で争点整理から解決案の作成までをすることは貴重な経験で、とても勉強になった。
- 事前準備が大変だったが、講義と受講者の様々な意見を聴くことができ、労働審判をイメージすることができた。
- 証人尋問のロールプレイングでは講師が登場人物のキャラクター設定までしており、面白かった。
- グループ討議でいろいろな意見を聴くことができ、とても良い学習の機会になった。
- グループ討議の発表では異なる判断もあり難しさを感じた。
- 実践的な証人尋問演習もあり、雰囲気がつかめて大変有益だった。
- 参加者間でも認識や考え方が異なる点があり、紛争解決の難しさを感じた。

## 基礎研修の満足度



## 応用研修の満足度



# お申し込み、受講方法等について

## ① お申し込み

- インターネットからお申し込み下さい。  
当連合会ホームページ (<http://www.zenkiren.com>) の「応募フォーム」からお申し込み下さい。

※ご提供いただいた個人情報は当連合会で厳重に管理し、本研修の目的以外には利用しません。

携帯電話でもお申し込みができます。



## ② 受講料のお振込み

- 受講料は、研修開始の1か月前までに下記口座にお振込み下さい。

三菱 UFJ 銀行 神田支店(331) 普通預金 0338084  
公益社団法人全国労働基準関係団体連合会  
シャ) ゼンコクラウドウキジュンカンケイダンタイレンゴウカイ

※振込手数料はご負担下さい。 ※領収書は振込控をもって代えさせていただきます。

## ③ 教材、動画視聴用 URL 等の送付（研修日の1か月前）

- 受講料の入金確認後、研修日の1か月前頃に、**テキスト、教材及び動画視聴用 URL、操作マニュアル**等をご指定の住所宛にお送りします。

・基礎研修は「労働法①～⑥」及び「労働紛争の解決システム」、応用研修は「最近の労働立法／判例の動向」、「事例的研修・総括（事前準備）」及び「個別労働紛争解決トレーニング（事前準備）」について、**オンデマンドの動画配信を視聴**するとともに、テキスト等を十分読み込み研修に参加して下さい。

※事前学習でわからない点、疑問に思った点は、研修前日までに事務局にメール ([kensyu@zenkiren.com](mailto:kensyu@zenkiren.com)) でご連絡下さい。講師にお伝えします（回答するか否かの判断は講師にお任せしています）。

※テキスト送付後のキャンセルはお受けできません。

事前学習期間（一カ月）

## ④ 研修の受講（研修日）

### ライブ配信での受講

- 研修前日までに、**ライブ配信受講用の URL とパスワード**をご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

■研修では**カメラ、マイクを使用します**。受講に当たってはカメラ、マイク機能の付いたパソコンを用意するとともに、**落ち着いて受講（視聴）**できる環境を確保してください。

■オリエンテーション開始前、早めにログインし、**機器が正常に受信**できているか確認して下さい。

### 会場での受講

- テキスト、教材等の資料及び受講票をご持参下さい。

■オリエンテーション開始までに会場にお越し下さい。

■昼食は予めご用意いただくか、近隣のレストラン等をご利用下さい。

## ⑤ 修了証の送付

- 研修受講後3日以内に、全基連のホームページからアンケート**をお送り下さい。  
事前学習と当日研修を全て受講し、アンケートを提出された方に修了証を送付いたします。

## 令和8年度 個別労働紛争解決研修スケジュール、担当講師一覧

基礎研修 (定員 各回60人)	研修回	日程	開催方法	労働法・総括	労働事件の審理の実際	争点の把握と法の適用 (基礎)
	①	7/15 (水)	ライブ配信	原 昌登 (成蹊大学)	佐々木 亮 (弁護士)	横山 直樹 (弁護士)
	②	7/28 (火)	会場 (東京)	水町 勇一郎 (早稲田大学)	山岡 遥平 (弁護士)	和田 一郎 (弁護士)
	③	8/20 (木)	ライブ配信	皆川 宏之 (千葉大学)	蟹江 鬼太郎 (弁護士)	仁野 直樹 (弁護士)
	④	9/1 (火)	会場 (大阪)	河野 奈月 (関西大学)	渡邊 徹 (弁護士)	大川 一夫 (弁護士)
	⑤	9/18 (金)	ライブ配信	野川 忍 (明治大学)	柳瀬 安裕 (弁護士)	梅田 和尊 (弁護士)
	⑥	10/7 (水)	会場 (東京)	原 昌登 (成蹊大学)	小野山 静 (弁護士)	伊藤 隆史 (弁護士)
	⑦	10/16 (金)	ライブ配信	阿部 未央 (東北学院大学)	太田 伸二 (弁護士)	佐藤 康浩 (弁護士)
	⑧	10/28 (水)	会場 (東京)	山川 隆一 (明治大学)	塚越 賢一郎 (弁護士)	嶋崎 量 (弁護士)
	⑨	11/10 (火)	ライブ配信	皆川 宏之 (千葉大学)	西川 治 (弁護士)	小宮 純季 (弁護士)
	⑩	11/24 (火)	会場 (東京)	土岐 将仁 (東京大学)	佐藤 正知 (弁護士)	伊藤 隆史 (弁護士)
	⑪	12/12 (土)	ライブ配信	有田 謙司 (西南学院大学)	杉原 知佳 (弁護士)	江上 裕之 (弁護士)
	⑫	1/13 (水)	会場 (東京)	島田 陽一 (早稲田大学)	大澤 英雄 (弁護士)	深井 剛志 (弁護士)
	⑬	1/28 (木)	ライブ配信	竹内 寿 (早稲田大学)	岡田 俊宏 (弁護士)	吉野 公浩 (弁護士)

応用研修 (定員 各回36人)	研修回	日程	開催方法	事例的研修・総括	争点の把握と法の適用 (応用)	個別労働紛争解決トレーニング
	①	10/2 (金)	ライブ配信	竹内 寿 (早稲田大学)	岸 聖太郎 (弁護士)	西川 治 (弁護士)
	②	10/8 (木)	会場 (東京)	荒木 尚志 (中央労働委員会会長)	深野 和男 (弁護士)	青龍 美和子 (弁護士)
	③	10/20 (火)	ライブ配信	池田 悠 (北海道大学)	開本 英幸 (弁護士)	上田 絵理 (弁護士)
	④	11/2 (月)	会場 (東京)	石崎 由希子 (横浜国立大学)	早田 由布子 (弁護士)	大澤 英雄 (弁護士)
	⑤	11/16 (月)	会場 (大阪)	河野 奈月 (関西大学)	山浦 美卯 (弁護士)	平方 かおる (弁護士)
	⑥	12/4 (金)	ライブ配信	原 昌登 (成蹊大学)	石渡 豊正 (弁護士)	梅木 佳則 (弁護士)
	⑦	12/16~17	会場(東京、2日間)	水町 勇一郎 (早稲田大学)	吉野 公浩 (弁護士)	君和田 伸仁 (弁護士)
	⑧	1/23 (土)	ライブ配信	緒方 桂子 (南山大学)	樽井 直樹 (弁護士)	佐藤 有美 (弁護士)
	⑨	2/5 (金)	会場 (東京)	野川 忍 (明治大学)	中野 麻美 (弁護士)	小鍛冶 広道 (弁護士)
	⑩	2/18 (木)	ライブ配信	山川 隆一 (明治大学)	佐々木 亮 (弁護士)	土屋 真也 (弁護士)

※各研修日の1か月前から研修日の前日までがオンデマンド配信による受講期間 (事前学習期間) となります。  
テキスト、教材、視聴用 URL 等をご指定の住所にお送りしますので、必ず事前に学習し研修にご参加下さい。

は会場開催の回
  はライブ配信の回

※講師のご都合により変更になる場合があります。  
最新の講師リストは、全基連のHPをご覧ください。

### お申し込み

受講のお申し込みはホームページから。研修内容の詳細はこちら ↓



**(公社)全国労働基準関係団体連合会 (全基連)研修事業本部**

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-2 三秀舎ビル6階  
TEL: 03-3518-9103 e-mail: kensyu@zenkiren.com  
URL: <http://www.zenkiren.com/>

